

## 2023年度「実務者向けデジタル人材育成講座」

「実務者向けデジタル人材育成講座」の受講者を下記のとおり募集します。今回は、昨年7月に開催した講座内容を再構成し、社会人が受講しやすいように講座回数を4回にして開催します。

本講座は、DX（デジタルトランスフォーメーション）時代に必須のデータサイエンスの全体像を知ることを目的に、従来の統計学を中心とした講座とは違い「データサイエンスで何ができるのか」など、実務者が直接役立つことを念頭においています。今、話題となっているChatGPTも取り上げます。

講座は「講義」と「演習」からなり、講義内容の実践的な部分を「演習」で体験して頂きます。講義演習コースと、講義のみ受講するコースの2つから選択可能です。

また、入門者向けの内容となっていますので、「講義」では事前知識の必要なく、「演習」は日常的にPCを使っている方なら参加可能です。文系・理系を問わず、多くの方のお申込みをお待ちしております。

<参考> 過去の受講者アンケート結果

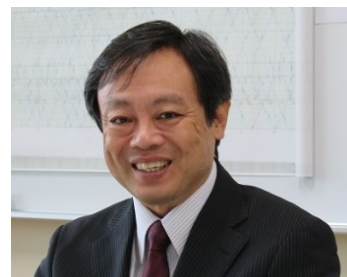
- ・2022年度：<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/64af3e80b3f5413c650832c0d8c7a59d.pdf>
- ・2021年度：<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/d3d9104d9db89529d8c233dafa54a052.pdf>

【講師】富山大学 名誉教授・特別研究教授 中川 大 氏（第一種情報処理技術者）

【講座形態】web 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン講座

※開催日に受講できなかった方は、録画配信でご視聴頂けます。

- <注意事項> ・受講予定場所で「Zoom」が使用可能な環境か確認の上、お申込みください。  
・演習では各自のPCにフリーソフトのインストールが必要  
なため、各社のセキュリティ制限等をご確認ください。



【講座日程と内容】

2023年 7月5日(水)～7月26日(水)の毎週水曜日(全4回)

(講義)14:00～15:25 (演習)15:40～17:00

講座内容は **2023年度「実務者向けデジタル人材育成講座」の内容** をご覧ください。

【受講料】・講義演習コース ¥40,000(税込)

・講義のみコース ¥24,000(税込)

※申込後、受講料振込についてご案内致します。銀行口座振込手数料は受講者でご負担ください。

【募集期間】2023年5月15日(月)受付開始 ～ 6月23日(金)締切

【お申込先】下記 URL のページよりお申込みください。

<https://ds-hokuriku.com/entry.html>

※北陸経済連合会・(一財)北陸産業活性化センターの会員以外の方もお申込頂けます。

【募集定員】80名(先着順)

【お問合せ】本講座に関するご質問は、下記のお問合せ専用メールアドレスにてお問合せください。

(講座事務局) [toiawase@ds-hokuriku.com](mailto:toiawase@ds-hokuriku.com)

## 2023 年度「実務者向けデジタル人材育成講座」の内容

講義テーマ 開催日	講義・演習の内容（予定）	講義時間 演習時間
<b>第1回</b> <b>講座の全体概要およびデータの収集・分析・プレゼンテーションの基礎知識</b>  <b>7月5日(水)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の急速な進展と、デジタルスキルの重要性</li> <li>・本講座の目標 ⇒実務に活かせるデジタル技術の基礎知識の習得</li> <li>・近年のデータサイエンスでできること</li> <li>・デジタルトランスフォーメーション（D X）でまず取り組むべきこと</li> <li>・大きく進展してきたデータ収集方法</li> <li>・公的データの活用。国の統計（e-stat）、オープンデータ</li> <li>・ビジネスに活用できるデータベースの数々</li> <li>・統計データを正確に理解する力を養う。</li> <li>・D Xに向けて「良いデータベースと悪いデータベース」</li> <li>・統計計算も Excel で簡単。平均・クロス集計・回帰分析・統計的検定</li> </ul> <hr/> <b>【演習 1】 データベースの作成と分析</b> (1) D Xに向けてのデータベース作成の基礎 (2) データを実際に用いて分析してみよう。クロス集計・回帰分析	講義 (85分) 14:00～ 15:25  演習 (80分) 15:40～ 17:00
<b>第2回</b> <b>ビジュアル系デジタル技術の基礎知識</b>  <b>7月12日(水)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急速に広がった地図の活用範囲。国土地理院デジタル地図など</li> <li>・ビジネスに活かせるG I S（地理情報システム）</li> <li>・画像と動画の取扱いの基礎知識。ファイルの種類と特徴、ファイル容量</li> <li>・web ページ（html）の基礎知識</li> <li>・数値シミュレーションとビジュアルで示す実務分析。損益分岐・資源配分</li> <li>・乱数の活用とモンテカルロシミュレーション</li> </ul> <hr/> <b>【演習 2】 ビジュアル系デジタル技術の応用</b> (1) web ページを実際に作成しよう。地図や写真入りのページも (2) 数値シミュレーションと最適化を体験する。 (3) G I Sで統計データを地図上に表示する。	同 上
<b>第3回</b> <b>プログラミングとA I・機械学習の基礎知識</b>  <b>7月19日(水)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングを学ぶ。プログラムが行っている仕事</li> <li>・コピーアンドペーストで使える最近のプログラム</li> <li>・A Iの仕組みを感覚的に理解する。</li> <li>・公開されている汎用的なA I・機械学習ツール</li> <li>・ChatGPT をビジネスに活かすには</li> <li>・A Iと従来手法の違い</li> <li>・ニューラルネットワークとディープラーニング</li> <li>・Python を体験。ライブラリーやAPI 活用で様々なことができる。</li> </ul> <hr/> <b>【演習 3】 プログラミングの体験（A I 関連は演習 4 で）</b> (1) スクラッチ（小学校で習うプログラム）でプログラムの考え方を習得 (2) いま流行のプログラム Python も体験しよう。	同 上
<b>第4回</b> <b>センサー・通信・I o Tの基礎知識</b>  <b>7月26日(水)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスの進展を支えるセンサー技術</li> <li>・センサー・I o T機器としてのスマートフォン</li> <li>・拡大・多様化するデータ通信</li> <li>・急速に進展するI o T</li> <li>・屋内外における測位と人数カウント</li> <li>・I o Tによる産業と社会の改革</li> </ul> <hr/> <b>【演習 4】 A Iを実際に使ってみる。</b> (1) 簡単に学べるA I・機械学習ツール (2) Python を用いてA Iを実際に試してみる。	同 上

上記の講座内容は予定であり、開講時に一部内容を変更する場合がございますので予めご了承ください。  
 開講日前日の **7月4日(火)夕方頃**に Zoom 接続確認とオリエンテーション(20分間程度)を開催予定です。